茨城県立結城第一高等学校　タイムライン　～台風(大雨)想定～

令和5年6月1日

タイムライン（目安時間）	気象庁・水戸及び宇都宮地方気象台	茨城県・県教育委員会 市町村・市町村教育委員会	学校の対応	家庭	マイタイムライン　チェックリスト
事前の備え			○学校所在地や生徒居住区の災害リスクを把握 ※洪水浸水想定区域，土砂災害警戒区域にあるか否か等を確認する。 ○災害対応マニュアルの作成 ○休校の判断基準の検討 ○学校の対応に関する保護者・地域への事前周知	**○ハザードマップの確認，マイタイムラインの作成** **○防災グッズ，非常時持ち出し品の確認** **○家族間の連絡方法の確認** **○災害備蓄品の確認・補充**	○洪水ハザードマップや浸水想定区域図等のチェック(浸水ナビ・ハザードマップポータルサイト等で調べる) ・私の住んでいる場所の浸水深は　（　　m） ・私の住んでいる場所の浸水継続時間は　（　　時間） ・私の住んでいる場所は家屋倒壊等氾濫想定区域か　□はい　□いいえ ○家庭の状況チェック ・車　□無　□有　・ペット　□無　□有　・持病薬　□無　□有 ・避難に支援が必要な人(高齢者・体の不自由な人・乳幼児・妊婦) □無　□有 ○避難先のチェック（指定緊急避難場所が満員・満車の場合を想定して複数ヶ所確認） ・□洪水ハザードマップに記載されている避難場所(　　)（　　）（　　） □親戚・知人の家 □その他(近くの浸水しない場所・浸水深以上の階のある堅牢な建物等) ・避難先までの移動手段（　　）　・移動時間（　　分） ○避難ルートのチェック（複数のルートを確認） ・渋滞が発生しやすい道路は？　（　　） ・道路の冠水で通行止になる場所は？（　　）
72時間前 (3日前)	○気象庁台風予報 警報級の可能性(5日前から)		**○ラジオ・テレビ・インターネット等による気象情報の確認(以降，随時)**	**○ラジオ・テレビ・インターネット等による気象情報の確認(以降，随時)**	**●今後の台風や前線を調べ始める** □テレビ・インターネット・携帯メールで台風の大きさ・進路や雨や川の様子を確認
48時間前 (2日前)	○台風に関する気象情報 ○台風説明会(水戸・宇都宮気象台) 強風注意報 大雨・洪水注意報	**○災害情報連絡担当者会議(県)** **○メール配信による注意喚起（県教育委員会）**	○保護者への文書配布・HP等での周知 ※土日，祝日等の休業日を挟む可能性がある場合は，早めに対応する。 **●対応の見通し(休校の判断等)　●注意喚起(川に近づかない等)** **●避難時の必要事項(避難場所，避難ルート、連絡方法、非常用品等)** ○学校施設内で風で飛ばされるものがないか点検 ○教職員緊急連絡網，結城市市民生活部防災安全課連絡先の確認 ○避難所となった場合の教職員参集体制の確認と学校施設利用計画の確認 ○危険個所の立ち入り禁止等の危険回避対応	○避難場所，避難ルート，連絡方法，非常用品の再確認 ○自宅保全 ○家周辺に風で飛ばされるようなものがないか確認	**●避難する時に持って行くものを準備する** (例) □車(ガソリン)　□眼鏡・コンタクト　□通帳・印鑑・マイナンバーカード　□懐中電灯・ラジオ □財布(現金)　□服（下着）・靴・スリッパ　□マスク・消毒液・体温計　□常備薬(薬手帳) □水・食料　□パソコン　□携帯電話・充電器・バッテリー　□住所録 □洗顔・歯磨きセット　□タオル・タオルケット・枕　□タコ配線可延長コードなど ○今やっておくべきこと(雨風が強くなる前に済ませておくとよい) (例) □学校HPのチェックや学校の先生とメール・電話で連絡がとれるように準備(履歴等確認) □今後の家族の予定や連絡方法をお互い確認 □家の周りで風に飛ばされるようなものはないか確認 □大事なものを2階へ移動 □避難場所・避難ルートの再確認
24時間前 （1日前）	○台風に関する気象庁記者会見 大雨・洪水・暴風警報	○準備配備体制の確認 ○防災安全課待機(市町村) ○水防団への注意喚起(市町村) ○災害対策連絡会議	○校内における災害対策方針確認（管理職）→教職員へ共通理解を図る ○県教育委員会，近隣学校との対応の検討・確認 ■休校等の措置をとる場合 当日午前6時までの間に，学校HP及び一斉メールで保護者に連絡する。 ■登校後に下校させる場合 公共交通機関の運行状況を把握し，安全第一で帰宅するよう指導する。 ■登校後に保護者に引き渡す場合 本人を通じ，或いは一斉メールで保護者に迎えを依頼する。 ※河川氾濫，土砂災害等の危機が迫っているときは，保護者に引き渡さない場合もある。	○冠水などによる通行止め情報の確認（以降，随時） ○学校からのメール等の確認 ○学校に子どもを迎えに行く ※河川氾濫，土砂災害等の危険が迫っている場合には迎えに行かない。 ○子どもへの声かけ(外出を控える，川に近づかない等) ○携帯電話・モバイルバッテリの充電 ○自家用車ガソリン補充	**●住んでいる所と上流の雨量を調べ始める** ○学校が休校または下校した場合家庭において安全確保 ○今やっておくべきこと □冠水などによる通行止め情報の確認（以降，随時） □学校からのメール等の確認 □携帯電話・モバイルバッテリの充電
12時間前 (半日前)	○隣接県での大雨特別警報 暴風域入り	○避難所開設の準備(市町村) 第一次防災体制 ○水防団指示(市町村) 第二次防災体制 ○避難所開設 ○警戒レベル3は高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ避難所準備をし、危険を感じたら自主的に避難。 第三次防災体制	避難準備 ○避難所開設の支援(結城市との協力体制の確立，必要物品準備等) ○県教育委員会に災害対応を期限までに報告 ○自宅が遠い教員に帰宅を指示(台風上陸想定時刻等を考慮) ※河川氾濫，土砂災害等の危険が迫っている場合や，通勤ルートが通行止めの場合などは学校に留まる指示をする場合もある。 高齢者等避難　→　警戒レベル　3　→　避難開始	○近くの川の水位を調べる ○居住地と上流の雨量を調べ始める ○ハザードマップで避難場所・避難手段を確認 ○通行止め情報がないかインターネット等で確認 ○休校措置後，下校後，家庭において安全確保(又は避難) ○家族の安否情報の確認 ○避難しやすい服装に着替える ○防災無線・携帯メール等で避難準備情報の受信	**●川の水位を調べ始める**(直接見に行くと非常に危険なのでインターネットで調べる) ・近くの川の水位は(　　) ○水位等の状況をふまえ避難にかかる時間に応じて避難行動を開始 □避難しやすい服装に着替える(バッグはリュックサックで靴は動きやすいものがよい) □防災無線・携帯メール等で避難準備情報を受信 □避難ルートの確認 □避難に時間や支援を要する人(高齢者等)は避難を始める
5時間前	記録的短時間大雨情報 土砂災害警戒情報 鬼怒川・田川氾濫警戒情報	○災害対策本部設置(県・市町村 第四次防災体制	警戒レベル4までに全員避難　災害のおそれ 避　難　指　示　→　警戒レベル　4　→　避難完了	○自宅付近で，浸水，土砂崩れ等の恐れがある場合，家庭の自主判断による安全確保(自宅または避難所) ○支援を要する子どもがいる家庭は，早めに避難する。 ○防災無線，携帯メール等による避難指示の受信	**●安全な所へ移動を始める** □避難場所までの移動時間は(　　時間) □川の水位をインターネットで確認 □携帯メールで緊急速報メールを受信(避難指示) □道路の状況を把握しつつ移動を始める
3時間前	大雨特別警報	○安全な避難ができず命が危険な状態。緊急安全の発令待ってはいけない。(市町村が災害状況を確実に把握できないため、警戒レベル5は必ず発令させる情報ではない。)	緊急安全確保　→　警戒レベル　5　→　命を守る避難・安全確保	○市内の高台や避難場所への移動を完了 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○携帯メールで避難指示を受信 ○近くの川の水位をネットで調べる ○自宅内の浸水が想定されない場所で，身の安全を確保 ○家族の避難状況（居場所）及び家族全員の無事を確認	**●避難完了** □避難場所への移動を完了(または自宅の浸水が想定されない場所で安全確保) □家族全員の避難状況(居場所)を確認
0時間	河川氾濫・土砂崩れ	災害発生　または　切迫	○テレビ・インターネット等による気象情報の確認 （防災アプリ，市防災メール）		○河川氾濫等の災害発生
6時間後	警報の解除 注意報の解除	○学校の被害状況把握(県教育委員会) ○生徒の安否把握(県教育委員会) ○学校再開，休校等に関する情報把握，集計(県教育委員会) ○避難者への支援(県・市町村) ○自衛隊への派遣要請(県・市町村)	○学校内外の被害状況把握・県教育委員会に被害報告 ○生徒の安否確認 ※電話等が使えない場合は，NTT災害伝言ダイヤル(171)を活用する。 ○県教育委員会へ安否確認・登校・休校等の報告	○安否について学校へ連絡 ※電話等が使えない場合は，NTT災害伝言ダイヤル(171)へ伝言依頼する	○安否について学校へ連絡